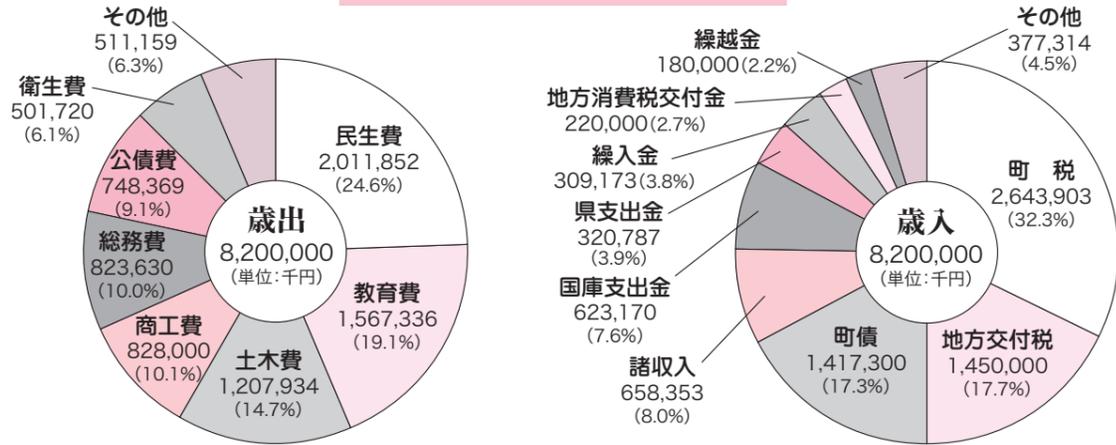


一般会計予算の内訳



●主な歳出のワンポイント解説

- 民生費** 高齢者、障害者、保育園などに使われるお金
- 教育費** 学校、社会教育施設の整備や運営に使われるお金
- 土木費** 橋、道路、公園などの整備や、下水道事業特別会計への繰り出しに使われるお金
- 商工費** 町内の商工業者などへの支援、観光施策に使われるお金
- 総務費** 行政改革、協働推進、選挙、税金の徴収など、行政運営に使われるお金
- 公債費** 町債（借入金）の返済に充てられるお金
- 衛生費** ごみ処理、環境施策、母子保健、生活習慣病検診などに使われるお金

●主な歳入のワンポイント解説

- 町税** 町民税（個人・法人）、固定資産税、軽自動車税、たばこ税など、町が集めることのできる税金
- 地方交付税** 地方自治体の財政力に応じて国から配分されるお金で、全国格差なく必要最低限の生活ができるようにするのが目的
- 町債** 大きな支出が必要なときや、将来にわたり町民にも経費負担がふさわしい場合に借りることができる町の借入金
- 国・県支出金** 町が行う事業に対し、国や県が支出する補助金などで、使いみちがあらかじめ決められているお金
- 地方消費税交付金** 全国の消費者が納めている消費税5%のうち約0.5%分を、町の国勢調査人口や従業員数の割合により国から県を通じて交付されるお金

二十四年度の一般会計予算は八十二億円と積極型の大型予算となりました。本年度は、町長任期最終年となりますが、町政の継続性の観点から通年型の予算とする事を念頭に、住民の皆様へ寄り添い、日頃からの想いで編成を進めてまいりました。お陰様でここ数年、職員数の削減による人件費の抑制、事務事業の見直しなどの行政改革や行政経営プランに沿った計画的財政運営などにより、ある程度財政面での立て直しも進み、今まで積み残してきた事業にも対応しつつ、住民の皆様にも納得していただける温もりのある予算と自負しております。

大型の投資事業としては、南小学校の改築や赤砂崎公園化事業などがあります。すでに基金として積み立ててきたため事業費の確保もでき、直接住民生活に影響する高齢者福祉や子育て支援など福祉関係の各種ソフト事業の充実と共に、地域からの要望が多い道路整備事業費等にも対応させていただきました。

また、先の大震災を受け安心安全のまちづくりは最優先の課題と位置づけ、地域防災力の強化に向けて各



下諏訪町長 青木 悟

種事業を充実させるとともに、急激な高齢化が進むなか、町民の皆様が健康で元気に生き甲斐を持って地域で活躍できる、そのようなまちづくりを目指した事業も充実をさせていただきます。

工業、商業、農林水産業などの産業振興は、町の活性化に大変重要な課題であり、引き続き各種補助制度の充実や地域の「宝」を活かす施策と共に、観光客など交流人口の増加にも力を入れてまいります。

このように積極的な大型予算となりましたが、引き続き尚一層の健全財政の構築を目指すと共に、効率的かつ弾力的な行政運営を心がけてまいります。今後とも町民の皆様が住んでいる事に誇りを持って「魅力あるまちづくり」を目指してまいります。

町政の継続性と住民に寄り添った予算

大型建設事業と財政健全化を両立

～南小学校改築と赤砂崎公園整備が本格始動～

一般会計予算は八十二億円の積極型

●二十四年度予算案の概要についてお知らせいたします。

東日本大震災からの復興が進む一方、歴史的な円高水準などにより景気低迷が続く厳しい社会経済環境ですが、二十四年度には最重要事業として位置付けた南小学校の改築（校舎棟第一期工事）、赤砂崎公園の施設整備が本格的に始まります。また、火災警報器の現物支給、運転免許返納者へのタクシー券の助成、国保の特定健診無料化、保育料の引下げ、ひとり親世帯等児童激励金の加算、子育てふれあいセンターの土曜日開館など、高齢者や子育て支援へのソフト面を充実し、湖畔への野外健康器具の設置、道路改良・補修経費の増額など、町民の皆さまに寄り添った温もりのある事業を展開します。

更に、ラジオを活用した観光情報の発信、駅トイレの全面改修、特産品の開発、総合運動場の夜間照明設備設置など、地域や住民からのご要望にも精一杯応え、安心安全・地域活性化によるまちづくりを推進します。

皆さまからお預かりした貴重な税金を有効に活用しながら、夢と希望にあふれるまちづくりに向けて、「元氣」と「魅力」を発信してまいります。

予算案の施策の主な内容

- 安心・安全のまちづくり**
緊急情報サービスの拡充、赤砂崎公園の整備、南小学校校舎棟の改築など
- 地域活性化まちづくり事業の推進**
商工農業振興の推進、LED街路灯・照明の推進、街なみ環境の整備など
- 地域で守り育てる子ども支援策の推進**
ひとり親世帯等児童激励金の加算、保育料の引下げ、学校環境の整備など
- 環境、福祉施策の充実**
疾病予防・健康づくりの推進、道路維持補修の充実、駅トイレの改修など
- 行政改革の推進**
地域主権改革への対応、工事技術調査の拡充、企業会計への移行準備など

会計別予算額

会計名	予算額	前年度比
一般会計	82億円	7.9%
国民健康保険特別会計	21億8,130万円	△1.2%
下水道事業特別会計	7億5,100万円	△0.7%
駐車場事業特別会計	640万円	△52.2%
後期高齢者医療特別会計	2億8,730万円	6.5%
交通災害共済事業特別会計	1,170万円	△17.0%
温泉事業特別会計	3億3,520万円	△7.8%
特別養護老人ホーム事業特別会計	2億9,840万円	1.5%
東山田財産区会計	90万円	△35.7%
企業会計		
水道事業会計		
収益的支出	2億7,450万円	0.6%
資本的支出	1億3,290万円	△5.4%

【会計区分】

「一般会計」は、町が行う事業の大部分を占める会計で、支出には皆さんから納めていただく町税や地方交付税等を主な財源としています。これに対し、「特別会計」は、特定の事業を行うために設けられた会計で、支出を保険料や使用料などの収入（財源）で賄っています。

また、事業によって得る収入で支出を賄う独立採算型の会計を、「公営企業会計」と呼び、当町では水道事業会計がこれにあたります。